

日清製粉グループ 第1四半期連結決算、通期連結業績予想

[平成19年3月期第1四半期連結決算]

業績は計画通りに推移。

株式会社日清製粉グループ本社（社長 長谷川 浩嗣）の平成19年3月期第1四半期につきましては、第二次中期経営計画の2年目を迎え、製粉事業、食品事業を始めとする各事業において積極的な販売促進活動や新市場開拓を進めるなど出荷伸長を図りました。一方で、日清ファルマ㈱において主力のコエンザイムQ₁₀の昨年上期までのブームが沈静化したことにより売上げが減少したこと、日清エンジニアリング㈱において当社グループ外向けの完工が前年と比べて減少したことなどから、売上高は1,046億45百万円（前年同期比0.5%減）となりました。利益面では経常利益は56億77百万円（前年同期比0.1%増）となり、四半期純利益は28億36百万円（前年同期比3.2%減）となりました。売上高、利益とも計画通りに推移しております。

経常利益の見通し推移

	前年実績 (百万円)	本年計画 (百万円)	本年見通し (百万円)	前年差 (百万円)	計画差 (百万円)
第1四半期経常利益	5,668	5,680	(実績) 5,677	8	-3
上期経常利益	11,600	11,200	11,200	-400	0
通期経常利益	24,774	25,300	25,300	526	0

[平成19年3月期通期連結業績予想]

当初予定通り、売上高、経常利益とも前年を上回る見込み。

第1四半期の業績は計画通りに推移しており、中間期業績予想、通期業績予想とも、当初予想通りとしております。今後もグループの成長に向けて、販売促進費、広告宣伝費、研究開発費等の戦略経費を投入し、海外事業、中食・惣菜事業の拡大による成長領域での市場開拓を図るとともに、製粉事業、食品事業等におきましても主要商品のシェアアップ、コスト革新など経営体質の強化を更に進めていきます。

平成19年3月期の連結業績予想におきましては、売上高は4,350億円（前期比3.2%増）、利益面でも経常利益は253億円（前期比2.1%増）、当期純利益は140億円（前期比3.4%増）と増収増益となる見込みです。

以 上